

いました。

今回上映した無声映画「伸びゆく織都」は、山口理事が、故小池久雄氏から預かった DVD で、桐生市が隆盛を誇っていた昭和 11 年から 12 年頃にかけて両毛織物新聞社が制作した映画。



日本絹撚、堀祐織物、桐生織物会館など当時の桐生の産業の様子を見ることができ、貴重な映像でした。これらの様子について、桐生の歴史専門員でもあり、自身落語が好きだという小野里了一氏の軽妙でありながらも正確な歴史的背景や映像に関する興味深い解説をいただき、参加者全員、楽しく、集中して映像を鑑賞することができました。

映画終了後は、希望者を中心に大正 8 年創建で今も現役を続ける桐生倶楽部会館（桐生市指定文化財）の見学会を行いました。スパニッシュ・コロニアル建築を設計した清水巖についての説明を加え、桐生倶楽部の存在価値と意味について、一般参加の方々にもお伝え出来た貴重な機会となりました。

次年度は、全国一斉文化財公開に併せて、桐生市文化財保護課の協賛をいただいた事業ができるように、早めに企画を出していきたいと思っております。参加者 27 人
(まちづくり委員会 星野儷日 記)

歩く会12月例会
(写真部・ぶらり歴訪部会共催)
国立西洋美術館と明治神宮
(オルセー美術館所蔵印象派展)と
トルコ文化センター見学
(東京ジャーミイ)

「国立西洋美術館」

オルセー美術館所蔵印象派一室内をめぐる物語。昼食時間を含めて 3 時間 40 分ゆっくり鑑賞していただいた。企画展だけ鑑賞して食事を済ませた方、企画展・常設展の全部を観賞した方それぞれ思い思いに行動していただきまでした。オルセー美術館企画展の国内での展示はここだけなので大勢の方が鑑賞に訪れていました。鑑賞後昼食のため東京都美術館食堂に向かいながら動物園入り口方向を見ると雨模様なのか入場者の動きが少ないように感じました。翌日、パンダが中国に返されるとの報道にびっくり、それならあの時動物園にも言ってパンダを見ておけばと思ったのは後の祭り。

「明治神宮」

長い参道を歩いて参拝、社殿も鳥居も大きい。また、結婚式を挙げた行列に出会い境内にいた多くの皆さんが祝福をしているほほえましい光景。うれしいね。大正 9 年、この地を選んで創建。百年前に今の東京が想像できたのでしょうか、喧騒を忘れ、高層ビルも見えないこの神宮の森。国家の象徴として全国から 10 万本の樹木をあつめて森を造り神聖化したのでしょうか。百年後の現在、多くの皆さんに慕われる立派な森になっているは凄い。